

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	陸上貨物運送事業における労働災害防止対策の推進		担当部局庁	労働基準局安全衛生部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	安全課		田中 正晴		
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		施策名	Ⅱ-2-2 労働者が安全で、健康に働ける職場を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号 労働安全衛生法第3条第2項		関係する計画、通知等	新成長戦略:「2020年までに労働災害を3割削減」 第11次労働災害防止計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成22年において陸上貨物運送事業における労働災害が大きく増加したことから、荷役作業における墜落災害防止対策の充実・徹底及び、増加傾向にある陸運業に従事する50歳以上の高齢労働者に配慮した交通労働災害防止対策の実施により、陸上貨物運送事業における災害防止対策を強力に推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1)荷役災害防止対策 ア 荷役安全設備の好事例の収集と教材開発 イ 荷役作業安全に係る荷主向け荷役安全設備の体験を含む研修会の開催 (2)交通労働災害防止対策 ア 高齢労働者に配慮した交通労働災害防止対策推進のための手引書作成 イ 上記手引書を活用した陸運事業者向け研修会の開催							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計					49	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	研修会出席者に対するアンケート調査により、役立ったとする割合を〇%以上とする(予定)。		成果実績	%	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	各研修会における出席人数を〇名程度確保し、それぞれ〇回の合計〇回開催するため、累計〇名程度に研修会を行う(予定)。		活動実績 (当初見込み)	名	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
単位当たりコスト	(円/名)		算出根拠	実績値がないので単位当たりコストの算出は不可能であるが、次年度以降は、円(平成〇年度支出額)÷件(平成〇年度アウトプット実績)により算出予定。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	事業費		40					
	運営費		2					
	管理費		5					
	消費税		2					
計		49						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	新規事業であり、現段階で点検可能な項目のみ評価したもの。		
予算監視・効率化チームの所見			
-		陸上貨物運送事業における労働災害の防止への取組を支援するための事業であり、妥当性や重要性の観点から優先度の高い事業である。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記

新規事業のため、平成22年度実績なし

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
新規事業のため、平成22年度実績なし					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1		新規事業のため、平成22年度実績なし			
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					